

読者からのおたより

やさしさに想う

青葉区 井上ヤエ

3月11日午後2時46分、歯科医院の待合室で診療の順番を待っていたところ、急に建物が揺れだしました。歩くのもおぼつかない私を受付の方が抱くようにして、外に連れ出してくださいました。外はものすごく寒かったのですが、受付の方が毛布を運んでくださって、石に腰かけていた私は、肩から毛布にくるまり、その裾を座っていた石の上に敷いて、少しほっとすることができました。毛布をわけあいたいと思いましたが、「私は若いから大丈夫」と毛布全部でくるんでくれました。



それでも風が冷たく、寒がっている私をみかねてか、また毛布を2枚も3枚も用意してくださいました。まわりに立っていらっしゃるみなさんも、寒い思いをされているので、毛布をわけあいたいと思いましたが、みなさん「私は大丈夫です」と、また私に毛布を下さいました。

娘が迎えに来てくれるまでの時間は、永遠とも思えました。しかし、それまで先生もそばで暖かい声を掛けて下さり、こんなに有り難いことがあるのかと思いました。

私は関東大震災を小学3年生で経験しました。昔の東海道沿い（現・鶴見区）に面している家に住んでいました。東京から焼け出された多くの人々がゆかた一枚で逃げてきました。そのときに、母を含め街道沿いに住む人々がおにぎりをつくって手渡していた、その場面が思い出されます。

今の東北の方々を思うと、とても胸が痛みます。けれども、私たち一人一人ができることを考え、お互いのことを思いやり、いたわりあうことで、さまざまな困難や苦しみを少しずつでも乗り越えていければと願ってやみません。

* 井上さんは今年5月に97歳を迎えられます。現在も数人のお弟子さんのお茶の師匠でもあり、新聞も読まれるお元気な方です。今回、お孫さんの後押しに感謝

掲示板

第3回 市民健康講座 山内地区センター共催

平成23年6月19日（日）13時～15時

青葉区山内地区センター（あざみ野駅徒歩3分）

「和食の底力」



講師：小泉武夫 東京農業大学名誉教授

定員190名 会費：1,000円

お問い合わせ事務局 045-962-1184

山内地区センター 045-901-8010

